

土地利用計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業・宿泊施設・観光等について、もう少し具体的にこういった施設が少ないのかを表現できないのか。</li> <li>・観光案内所については、民間の視点を入れて、提供したい側の情報ではなく、提供して欲しい側の要望を満たす施設が必要になる。</li> <li>・どのような機能や用途が必要か望ましいかについて、駅周辺の土地利用誘導方策や土地利用計画について整理して欲しい。</li> </ul>
交通計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅南にインターチェンジがあるため、高速バスは南側に確保して欲しい。</li> <li>・南口広場のレイアウトは信号関係の問題もあるが分離案でどうか。</li> <li>・新幹線が開通することによるタクシー需要は、在来線ベースでは十分でなく、空港からの転換もあるのではないかと。</li> <li>・ショットガン方式を行う場合、タクシーの専用・優先道路を確保して、スムーズに駅にまわれる工夫が必要。</li> <li>・ピーク1時間ではなく、新幹線1本あたりのタクシー利用者を想定する必要があるのではないかと。</li> <li>・タクシーは西口に確保されている方が利用者にとっては、悪天候にも影響されず、タクシー事業者にとっても、西口に集約されて、一番利便性が高いのではないかと。</li> <li>・タクシーについては、増やす余地を確保した上で、最低限この台数を確保するという考えが良いのではないかと。</li> <li>・需要の前提としてトレンドを基に推計しているものがあるが、北口はライトレールも開通し、これから発展する可能性もあるため配慮が必要。</li> <li>・交通広場について、基本は利用者の立場である。</li> <li>・駅前広場を交通広場として使うのか、または、歩行者のための空間など、交通だけでなく機能をこの空間に確保するのかについて、もう少し整理した方が良いのではないかと。</li> <li>・富山が日本の中でも違う視点、形で昔からのやり方以外にITSなどを活用して先進事例として整備することも必要。こういった駅前広場にしたいということを十分に議論することも必要で、様々な意見をもらい、可能性を今後、検討することも必要。</li> </ul>
景観・賑わいについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外広告物については、規制誘導を急いだ方が良い。新たな広告物が出てきた頃に規制をかけていくことは難しい。</li> <li>・外部資本が入ってくると土地利用が活発になり、外部からの開発者には指導が伝わり難い面も多いため、少し強めの規制をできるだけ早期に設ける必要がある。</li> <li>・土地の高度利用を進めるためには、最低高さと同時に最高高さについても検討しておくべきではないかと。</li> </ul>

## 『第2回富山駅周辺整備事業推進協議会』 議事録

日 時：平成19年2月20日(水) 13:30～

場 所：富山国際会議場 203・204 多目的会議室

### 次 第

1 開 会

2 議 事

1) 「第1回富山駅周辺整備事業推進協議会の要旨について」〔資料-1〕

2) 「富山駅周辺街区の土地利用計画検討」〔資料-2〕

3) 「富山駅交通広場の交通計画検討」〔資料-3〕

4) その他

3 閉 会

### [出席委員]

黒川委員、森委員、中川委員、江幡委員(荻澤委員の代理)、埴生委員、野委員(松山委員の代理)、金山委員、杉岡委員、川岸委員、八嶋委員、白倉委員、東畑委員、徳道委員、開口委員、笠原委員

### 議 事

【座長】 富山市では、先ごろ中心市街地活性化基本計画が国の承認を得た。富山駅周辺整備事業においても活性化基本計画と整合を取りながら進めていくことになる。

本日の議事は、性格が異なるため、項目別に進めて行きたい。

#### 1) 「第1回富山駅周辺整備事業推進協議会の要旨について」

【事務局】 (資料説明 資料-1)

議事録については、修正等があれば一週間以内に事務局に連絡頂きたい。

【座長】 今の時点で、議事要旨について修正事項はあるか。

【委員】 1頁に「余裕を持ったレイアウト」とあるが、規模だけについて述べたものではないため、「余裕を持った」という文言は削除して欲しい。

【委員】 資料-1についても資料の事前送付をお願いしたい。

【事務局】 今回は事前送付ができなかったが、次回からは議事録についても事前送付をする予定である。

【座長】 次の議事に移る。資料の説明をお願いしたい。

#### 2) 「富山駅周辺街区の土地利用計画検討」

【事務局】 (資料説明 資料-2)

【座長】 土地利用について何かあるか。

商業・宿泊施設・観光等について課題がでていますが、もう少し具体的にどういった施設が少ないのかを表現はできないのか。

【事務局】 今日の段階では、このような表現にしているが、商業やオフィス等について検討を行った結果、例えばホテルについては不足感がある状況である。

ホテルとして、どのレベル・グレードのホテルが必要であるか等については、本日の資料では整理していないが、次回以降に検討を深めて行きたい。

【 委 員 】 3頁に開発余地が出ているが、こういった土地の用途など、どこまでこの協議会で議論を行っていくのか。

景観の中で、最低高さの設定が必要とあったが、なぜ必要なのかについてももう少し説明して欲しい。

県と市の合同で富山駅を中心とした景観デザインを検討しており、駅や駅前広場、周辺街区の景観・デザインについても検討しているため、2つの委員会において検討の役割分担が必要ではないか。

【 事 務 局 】 3頁については、駅周辺のどの程度の開発余地があるのかを図示した資料であり、このすべてを開発していくという意味ではない。

この協議会は、駅周辺の整備が続く間は、継続的に本協議会を開催したいと考えており、第1回にも説明したが、平成18,19年度で駅周辺の土地利用や景観の方向、駅前広場について議論を一旦まとめたいと考えており、土地利用については個別街区ごとに開発計画をまとめるのではなく、開発余地においてどのような開発、機能が駅周辺に求められているのかをまとめて行きたい。

駅北の開発のように更地から新規の開発をするのであれば、最低高さと最高高さの両方を規制し、より綺麗な街並みになると思うが、駅南は既に土地利用が進んでおり、高さは必ずしも揃っている状況ではない。将来的にこの景観を改善していくには、実現の可能性からすると最高高さを規制するよりも、最低高さを規制することで、駅前に低層の建物が立地するなどを規制するような検討を中心に進めて行きたいと考えている。

駅舎を含めたデザインの検討委員会とは、連携をとって進めて行きたい。

【 座 長 】 他に何かあるか。

【 委 員 】 屋外広告物については、規制誘導を急いだ方が良いと思う。新たな広告物が出てきた頃に規制をかけていくことは難しい。

4頁の「導入が考えられる施設」の内、観光・物産案内施設に「 」が付いているが、他都市の案内施設では、寂れていて利用者が少なく、低迷しているところが多く見られる。理由としては、観光協会や行政などの公平性が求められる立場では街一番の美味しい店を紹介することができない。観光客が欲しい情報は質の高い情報であり、並列にされた情報ではない。そのため、駅前の一等地に閑散とした案内所が立地することはマイナスイメージになると思うので、民間の視点を入れて、提供したい側の情報ではなく、提供して欲しい側の要望を満たす施設が必要になる。

視点の問題になるが、「駐車施設」について通勤通学の項目が「 」になっているが、駅周辺の駐車施設は通勤通学利用がメインではないのではないかと。

【 事 務 局 】 駅周辺へのアクセスは、公共交通がメインであるが、駅周辺にはコンサートホールなどもあるため、そういった施設利用のために一定程度の駐車場が必要である。

また、ビジネスや観光の方がパーク・アンド・ライドで、新幹線を利用する

方向けに一定程度の駐車場が必要であると考えている。通勤通学に「 」を付けているのは修正する。

観光物産については、今後、中身について検討を進めて行きたい。現在はCICの中に観光物産が入っているが、駅から離れているため、利用状況が良くない状況である。

- 【 委 員 】 6頁の金沢と富山のホテルを比較すると、大方の旅行会社と契約しているホテルが富山では2割程度で、金沢では5割以上が契約している。全国的に誘致を広げないと富山に来訪者を呼ぶことは難しいと思う。

駅南が新幹線も到着する側でメインになると思うが、現在、北口で乗降している観光バスを南口に確保してもらいたい。

- 【 委 員 】 観光案内については、駅に近い方が良いと思う。

ホテルの不足については、駅周辺の開発余地のなかでニーズがあれば民間開発があがってくると思う。

以前の協議会でも発言したが、現在検討している区域外の道路で狭い箇所等があるため、この協議会で議論する必要は無いが、並行して検討をして欲しい。

- 【 委 員 】 商業・飲食は新幹線駅として必要になると思うので、こういった店舗にするかなどは、今後、精度を上げて検討をして欲しい。駅に商業を配置する際に、富山ブランドを育てて、かつ紹介する方法を合わせて検討する必要がある。

ホテルについては、金沢では外部資本が入って乱立している状況である。富山ではホテルが必要だとは感じるが、種類や利用者の対象について精度を上げて検討して欲しい。

現在CICにある観光案内所は、確かに利用しにくいいため、駅構内に必要である。金沢駅にも案内所があるが、金沢の文化を紹介するギャラリーも併設されており、上手くいっている。上手く機能する観光案内スペースの設置を検討して欲しい。

駐車場については、基本的にはライトレールなどの公共交通を頼っていくが、現実的には車が必要になる。金沢は駅周辺駐車場の日割り料金が安いため、個人的な実感としても非常に便利である。

景観は金沢においても駅周辺に地区計画を設定しているが、古い計画のため規制が非常にゆるく、金沢の駅周辺土地利用が活発になったここ数年では、指導に苦労する面がある。外部資本が入ってくると土地利用が活発になり、そういった外部からの開発者には指導が伝わり難い面も多いため、少し強めの規制をできるだけ早期に設ける必要があると思う。

土地の高度利用を進めるためには、最低高さの検討は必要だと思うが、同時に最高高さについても検討しておくべきだと思う。地方都市において容積一杯を使うことは少ないが、外部資本は容積ぎりぎり建物で建てることもあり、バラバラの建物高さになる恐れがある。

街、建物の色彩については、金沢でも具体的に示しているが、グレー系など1つの色彩でも非常に多くの種類があるため、景観条例に従って調整を行う建物部会や屋外広告物の部会を設けて個別に指導している。そこまで用意しない

と条例だけでは上手く機能していかない。

【 座 長 】 事務局の方で参考にして貰いたい。他に何かあるか。

【 委 員 】 6頁の宿泊施設の現状として「金沢市においては、駅周辺への新規ホテルの立地が相次いでおり」とあるが、なぜ金沢で立地が相次いでいるのか理由を明確にしつつ、富山の場合で想定されるケースを深めて欲しい。

7頁の行政サービス・観光物産案内施設の課題で「他駅の事例を踏まえ」とあるが、様々な駅があり公共交通型の都市やそうでない都市もあるため、どういったものを用意するのかは他駅の事例から抽出することでよいと思うが、あるかないか、どのように運営するかは哲学が必要になると思うので、比較論だけでなく、方向性も含めて記述して欲しい。

駐車場や飲食店の不足だけでなく、どうして少ないのか、また、それぞれのマーケットでどのような不満やニーズがあるのかを精査することで、どのようなコンテンツが求められているのかが見えてくると思う。

景観については、地上からの景観だけでなく、建物に入って見る立山の眺望についても売りにできるようにして欲しい。

【 座 長 】 時間の関係もあるため、交通関連の議事に移りたい。

### 3)「富山駅交通広場の交通計画検討」

【 事 務 局 】 (資料説明 資料-3)

【 座 長 】 交通関係について何か意見はあるか。

【 委 員 】 2頁に長距離の高速バスを北口に移転するようになっているが、駅南にインターチェンジ(以下、ICとする)があるため、北口から南側に戻る必要があるため、高速バスは南側に確保して欲しい。

6頁に南口のレイアウトがあるが、B・C・D案ではタクシーとバスが交錯することになる。A案は信号関係の問題があるがこの方向で行きたい。

8頁の北口レイアウトについては、観光・送迎・路線バスが混雑するため、どのように整理するのが問題である。貸切バスや企業の送迎バスは別ものとする必要があるのではないか。

【 事 務 局 】 提示している案では、高速バスを南と北に振り分けているが、駅南には金沢や新潟などの比較的距離が短い路線で、距離の長い路線については北口を考えている。今回の駅前広場のコンセプトとしては、できるだけ歩行者空間を多く確保して、タクシーやバスをできるだけ効率的にレイアウトするよう考えている。

ICは南側にあるが、東京行きのバスなど乗客が多い場合は、複数台で並んで乗車させて発車する形態のため、スペース上の制約もあり、北口に整理している。

現状ではタクシーとバスを分離しており、事業者にとっては現状と同じように将来も分離したい思いだと思うが、全国的に見た場合、同程度の規模の駅で必ずしもバスとタクシーを分離して確保しているわけではない。

北口の企業送迎バスや貸切バスなどについては、別の整理が必要だと思う。

【 委 員 】 第1回の協議会でタクシーの実態調査結果があり、5分間で14台のタクシーが発車した時間帯が3回あったようだが、タクシーの場合、電車からの乗換え客が多いため、電車が到着してお客が降りないことには分からない。

現状で待ち時間平均が約58分とあり、待機スペースが多いことを指摘されているが、利用者を待たせないように運行している現状である。以前の雪が降った時期にお客を待たせたこともある。駅を出てタクシーが不足しており、利用者から苦情を受けるようでは非常に困る。

タクシーの需要推計を在来線の利用実態から算定しているが、新幹線が開通することによるタクシー需要は、在来線ベースでは十分でなく、空港からの転換もあると思う。

第1回の協議会において駅前プールが10台となっていたが、今回は16台となっているのは何故か。

遠隔地プールについて心配なのが、4分以内で駅前プールに入庫できるとあるが、遠隔地プールの場所にもよるが一般車交通との混雑や信号待ちなどのため相当混雑することが予想される。そうした場合、利用者を駅で待たせてしまうことになる。

コンパクトな交通空間は理解できるが、ショットガン方式を行う場合、タクシーの専用・優先道路を確保して、スムーズに駅にまわれる工夫が必要だと思う。

【 事 務 局 】 駅前プール10台というのは、平成16年度に行っていた以前の協議会資料をレビューとして提出したが、改めて、将来の新幹線乗降客数を考慮してピーク1時間でどの程度タクシー利用者がいるかと、西口から駅前までを信号処理も含めてシミュレーションを行って算定した数字である。

【 事 務 局 】 去年のタクシー利用実態調査では、ピーク時で約100人前後の利用があった。今回は、新幹線の開通と周辺の土地利用の高度化による利用者増を含めて、将来的にはピーク時に300人前後のタクシー利用を算定している。これを南北に分けた場合、南口で230人程度の利用者を想定している。また、高架下から駅前までの信号処理を含めてシミュレーションした場合、平均で2分、最大で3分以内と算定されている。それらを踏まえ、駅前に16台程度確保した場合、ほとんどタクシー待ちを生じさせないことが可能である。ただし、天候による影響は加味されていない。

【 座 長 】 ピーク1時間ではなく、例えば、新幹線1本あたりのタクシー利用者を想定する必要があるのではないかと。もう少し丁寧に検討をお願いしたい。

【 委 員 】 タクシーは南と北に分けているが、西口に確保されている方が利用者にとっては、悪天候にも影響されず、タクシー事業者にとっては、南と北の分散ではなく西口に集約されて、一番利便性が高いのではないかと。

【 事 務 局 】 西口をタクシー利用に使うことも考えられるが、当初は一般車利用をどこに確保するかを考える際に、西口に乗降バスと駐車場を確保することで対応を考えていた。このスペースにさらにタクシー機能を設けるのは厳しいと思う。

【 委 員 】 降車だけでも西口の高架下の方が良いのではないかと。遠隔地プールというこ

となら、タクシーの流れとしても降車した後にすぐに遠隔地プールに行けるのではないか。

高速バスについては、できれば南口の方が良いと思う。高速バスは運行が時間帯で分散しており、高速バスであれば発着時間を調整することも可能だと思うので、バースを増やさなくても南に一元化できないのか。

タクシーについては、参考資料にあるようにスマートプレートによる運行など新しい技術もあり、やってみないと分からないと思うが、増やす余地を確保した上で、最低限この台数を確保するという考えが良いのではないか。

【 委 員 】 タクシーの乗車が2バースと計画されているが、通常のタクシーだけでなく観光利用でジャンボタクシー等の需要もあり、乗降スペースを増やせる要素を持たせながら計画をして欲しい。

【 座 長 】 富山駅の交通広場の交通計画となっているが、駅前広場を交通広場として使うのか、または、先程もあったが歩行者のための空間など、交通だけでない機能をこの空間に確保するのかについて、もう少し整理した方が良いのではないか。

これまでの日本は、交通広場として整備する必要があったが、例えばリヨンの駅前広場では、バスやタクシーは広場の脇のほうで乗降を行って駅前に入ってくるのは問題外とされている。富山が日本の中でも違う視点、形で昔からのやり方以外に ITS などを活用して先進事例として整備するなど必要だと思う。こういった駅前広場にしたいということを十分に議論することも必要で、本日は第2回目のため、先程から出ている様々な意見をもらって、可能性を今後、検討することも必要だと思う。

【 委 員 】 交通広場についてメリット・デメリットはあると思うが、基本は利用者の立場であり、海外では交通事業者の動線はしっかり計画されているが、利用者は上下移動を強いられているケースと、利用者の利便性が確保されており、交通事業者が少し苦労しないといけない2通りがあると思う。

需要の前提としてタクシーの南北分担などトレンドを基に推計しているものがいくつかあるが、北口はライトレールも開通し、これから発展する可能性もあるため配慮が必要だと思う。高速バスについても新幹線が開通した後も現状の運行形態なのかなど配慮が必要で、需要の前提と、どのようなまちづくりを行うのかについて整理して欲しい。

【 座 長 】 議事のその他について資料の説明をお願いしたい。

#### 4) その他

【 事 務 局 】 ( 資料説明 資料-4 )

【 座 長 】 「 駅及び駅周辺施設利用者 」 については、ヒアリング調査を行うのか

【 事 務 局 】 はい。「 駅及び駅周辺施設利用者 」 へ直接ヒアリングする際には、調査項目をある程度絞った上での実施を考えている。

【 委 員 】 問4で来訪理由があるが、来訪者によって来訪頻度の差があるので、来訪頻度を聞く設問を加えた方が良いのではないか。

- 【 委 員 】 県内の方と県外の方で意見が異なると思うので、地域毎や県外からの視点などが分かるようなアンケートのとり方を行うのが良いのではないか。
- 【 座 長 】 アンケート調査を行うということで、この調査の実施を了解していただけるか。
- 【 全 委 員 】 （異議なし）
- 【 座 長 】 それでは、土地利用計画、交通計画について最後に何か意見はあるか。
- 【 委 員 】 トランジットモールについて、賑わいの創出を考えるのであれば、街の連続性が必要であり、駅前だけの短い距離では本当に賑わい創出になるのか心配である。中心市街地へ歩行者が自由に行き来できるような道路環境を検討して欲しい。
- 【 委 員 】 どのような機能や用途が必要か望ましいかについて、量的に多い少ないといった整理になっているため、駅周辺の土地利用誘導方策や土地利用計画について整理して欲しい。
- 【 座 長 】 他にないようであれば、今回はこれで終わりにさせていただきたい。
- 【 事 務 局 】 次回の協議会日程については、詳細が決まり次第連絡する。

以 上